第3種郵便物認可

やまぐち 下関

下関支局
☎ 083・223・1145
下関市細江町2-2-27
山口総局
☎ 083・922・0135
メール s-yamaguchi@asahi.com
購読・配達のご用は
0120・33・0843 (7~21時)
広告のご用は
朝日広告社 083・972・5660
オリコミのご用は
083・232・6830

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

0	下関	0	
0	萩	0	
0	山口	0	
0	下松・周南	0	
0	岩国	0	

下関	東南東	南
萩	南	南東
山口	南	

湿度 40%

気温	最高	最低
下関	20度	12度
萩	21度	8度
山口	21度	6度
下松・周南	22度	9度
岩国	20度	7度

あす

下関	東南東	南南西
萩	北西	南南東
山口	南南西	

湿度 40%

11月10日
(旧10月17日)

日	出	6.42
日	入出	17.14
月	月	18.19
月	入	8.14

月齢15.7

関門の潮流

10日
西流始 7.04
19.21
東流始 13.48
—

世界レベルの人材 下関から

ドローン操縦など学べる複合施設



目の前に海が広がる複合施設＝3日、下関市

ドローンスクールやカフェ、カルチャーセンターなどを備えた民間の複合施設が、響灘を見渡す下関市吉見古宿町に完成し、5日にオープンした。「下関からいきなり世界へ」をキーワードに、人材の育成や地域の支援に取り組む。

施設は「X—Culture Magazzino（クロス・カルチャー・マガジーノ）」。「ドローンスクール下関」はドローン操縦士協会の認定校で、農業や趣味など需要に応じた操縦技術が学べる。カルチャーセンターでは、農業や都市研究、歴史やファッション、料理など様々な分野で世界的に通用する人材の育成を目指す。

海外ビジネスをサポートする会社「A—commerce（エー・コマース）」（東京都）が運営する。秋葉良和社長(51)は下関市出身。三井物産を経て起業し、40カ国以上との貿易の事業経験を生かして、同施設を開設した。

国道191号沿いにあり、敷地面積は約1200平方㍍。ドローンハウスとオフィス棟、カフェなどを配置し、総事業費は約1億円。3日のオープニングレセプションで秋葉社長は「下関で生まれ、海を見ながら育ち、あの海の向こうに何があるのかを考えた。その思いを大切にし、地元の役に立ちたい」とあいさつした。

（水田道雄）

あなたの店も「図書館」に

カフェなどに蔵書提供 新たな参加事業者募る



「Cafeはなめ」の書棚からお気に入りの本を手に取る安田和子さん＝山口市小郡大正町

山口市立中央図書館は、気軽に本に親しむための「まちじゅう図書館」に新たに参加する事業者を募集している。街なかのカフェなどに蔵書を50~60冊提供し、「サテライトライブラリー」を開設してもらう取り組み。担当者は「本を起点ににぎわいをつくり出すため、協力してほしい」と呼び掛けている。

山口市立中央図書館

2018年9月から始めたプロジェクト。現在は山口市内のカフェや美容院、車の販売店など15カ所で実施している。約2カ月に1度、図書館から無料で本を配達して入れ替える。本の貸し出しはしないが、店内で自由に読むことができる。同図書館の末永眞央主事は「普段の生活で本から離れている人に、図書館に来るきっかけにしてもらいたい」と話す。

快適な読書環境を提供できること、年に1、2回、図書館でのワークショップを開催することなどが応募の条件だ。

JR新山口駅近くの「Cafeはなめ」（同市小郡大正町）は19年から参加している。店内のテーブル席奥に本棚を設置。「日めくりパスタ」「世界一やさしい！アロマ図鑑」「アイスランド紀行ふたたび」など多様なジャンルの本が並ぶ。「図書館の本を、食事を待っている間に手に取ったり、コーヒーを飲みながら読んだりと、お客さんに喜んでもらえるのがうれしい」とオーナーの安田和子さん(57)。

本を目当てに混雑するランチタイム後に来店し、ゆっくり読書をして過ごす人もいるという。「置いてある本からお客さんとのコミュニケーションが広がることも。いい企画だと思います」



「まちじゅう図書館シールラリー」の台紙

今年の募集は14日まで。12月上旬に16事業者を選ぶ予定。11月27日まで「まちじゅう図書館シールラリー」も開催中。3店を回ってシールを集めると、先着150人にオリジナルパスケースが贈られる。問い合わせは同図書館（083・901・1040）、ウェブサイト（https://www.lib-yama.jp/machiju/）。

（大藤道矢）

萩をPR「観光小町」新たに3人



「2022萩観光小町」に選ばれた藤原真由さん（左）と広兼圭郁さん＝萩市椿

萩市の観光をPRする「2022萩観光小町」に3人が選ばれ、8日に認定書交付式があった。任期は8日から2年間。13日の萩時代まつりのパレードでデビューする。萩観光小町は3人を加えて5人になった。

会社員の大島典子さん(36)と藤原真由さん(22)、大学生の広兼圭郁さん(22)の3人。藤原さんと広兼さんが交付式に出席した。

萩市出身の藤原さんは2018年からの2年間に次いで2度目の就任。前回は新型コロナの影響で多くのイベントが中止され、観光小町として活動したのは1度だけだったといい、「今回は多くの行事に参加して、萩の良さを紹介していきたい」。

広兼さんも萩市出身で、安田女子大（広島市）の4年生。来年4月から萩市に戻って保育士として働くことが決まっている。「萩を離れて、自然豊かな魅力を改めて感じた。恩返しができるように楽しんで活動していきたい」と抱負を語った。大島さんは宇部市出身で、英語で日本の魅力を伝える観光業に携わっているという。

（大藤道矢）

990人が感染

バジリスク 初の確認

県内で8日、新型コロナウイルスに990人が感染、80歳代の男性1人が死亡したと発表された。確認された感染者は延べ18万6956人、死者は計405人になった。保健所の管内別では、周南204人、山口142人、宇部137人、岩国76人、防府113人、下関52人、長門42人、萩35人、自宅療養者フォローアップセンター登録分125人。

県は同日、オミクロン株の1系統「BA・2・3・20」（バジリスク）が県内で初めて確認されたと発表した。感染者は無症状で海外渡航歴はないという。感染力や重症化リスクは明らかになっていない。

山口との関係「日英の縮図」

駐日英国大使が講演



講演するジュリア・ロングボトム大使＝山口市滝町

山口日英協会創立20周年を記念し、ジュリア・ロングボトム駐日英国大使が8日、旧県会議事堂（山口市滝町）で講演した。流暢な

生活保護廃止処

山陽小野田市

生活保護を受けていた山陽小野田市の女性が同居の次男のアルバイト収入を申告しなかったのを理由に、同市が生活保護を廃止した処分を「違法」として取り